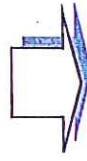


全 建 将 来 ビ ジ ャ ン ～全建の3つの『目標』～

2012年4月1日より『一般社団法人』としてスタート

建設業が果たしてきた役割（全建の使命）

- (1) 国土建設の担い手
(生活環境・利便性の確保、住宅建設、社会資本の維持管理)
- (2) 地域経済の活力増進
(地域経済の下支え、建設投資の関連産業への波及効果)
- (3) 地域での就業機会の提供
(建設投資による就業機会の確保、若年・中高年等の就業の場の提供)
- (4) 災害活動（地震・風水害・除雪・防疫）
など緊急時における国民の安全・安心の確保
(国民生活の安全・安心の確保、円滑な復旧・復興体制の確保)



建設業を取り巻く現状

○建設投資の急減に伴う競争激化と収益低下による業界全体の衰弱

- 地域経済・雇用の縮小
- 技術伝承・担い手確保の危機
- 社会資本の維持管理の危機
- 災害対応空白地帯の発生

○社会環境の変化に対応できる入札契約制度の必要性

『国民・社会のために』

《国民の期待に応え地域社会に貢献する》

災害から人命・財産を守る

人・自然環境に配慮したまちをつくる

地域社会のリーダーを目指す

コンプライアンスを徹底する

《やりがいと誇りのある建設産業を創出する》

健全な企業経営が維持できる環境をつくる

人材を確保し、育成できる環境をつくる

基幹産業として地域経済を支える

《ニーズを共有し実現できる体制の強化を図る》

会員間のネットワークを深化させる

ステークホルダーと協働する
(人・企業・行政)

『建設産業のために』

『会員企業のために』